出前講座　区分：河川　講座名：河川災害

岩手河川国道事務所
流域治水課

「砂鉄川の治水対策と北上川の流域治水」

開催概要

- 開催日時　令和7年9月2日（火）13:30～14:30
- 開催場所　一関市立川崎中学校
- 参 加 者　川崎中学校1年生16名、一般聴講者40名
- 講座目的　洪水被害の様子を後世に伝える災害学習の一環（川の学習会）

実施内容

今回の出前講座は、砂鉄川改修事業概成20年を迎えて、過去の川崎町の洪水被害の様子を後世に伝え災害学習の機会とする目的で一関市が主催した「川の学習会」の講師として、当事務所職員が一関市立川崎中学校に出向いて講話を行いました。

まず最初に北上川の特徴を紹介し、過去に北上川で発生した水害について一関市内の被害を中心に振り返りました。次に平成10年8月と14年7月に発生した砂鉄川の洪水被害とそれに伴い実施した治水対策事業の概要について、当時の映像も交えて振り返りました。最後に一関遊水地などを含め、現在、北上川で国土交通省が行っている治水対策事業を紹介するとともに、気候変動を踏まえた新たな水災害対策である「流域治水」の考え方について説明を行いました。

参加した川崎中学校生徒からは、「水害が多い一関市で水害から市や町を守るために色々な工夫をしていることが分かった、いつ川が氾濫するか分からないのでいつ起きても備えられるよう家族や地域の人と話し合っていきたい。」との感想があり、主催者からも「砂鉄川の水害の歴史を知らない地域住民も増えつつある中で、過去の水害の振り返りや国交省の流域治水の取り組みの紹介を通じて、地域の水災害への防災意識を高めるいい機会となった。」との講評があり、今回の講話が、川崎町における地域防災力の向上の一助となる有意義なものであったことを実感できました。講話を聴講いただいた川崎町の皆さま、本当にありがとうございました。

実施状況



一関市役所川崎支所長の挨拶



講師の挨拶



講話中の会場の様子